



2009年10月発行

悪魔と神

悪魔は言った。「この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任されている、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる」

(ルカによる福音書4章6～7節)

主イエスが体験なさったことを通して、悪魔の誘惑への備えをいたしましょう。

悪魔って本当にいるのでしょうか。悪魔が恐れられた昔とちがひ、現代ではその存在を信じられない人が多くなってきました。しかし悪魔は確かにいるのです。それは神に反対する霊的な力です。それは神によってしりぞけられながらもなお、現実の力としてこの世界で働いています。

悪魔がもってくるものはお金、権力などこの世の幸せと結びついています。人が悪魔の誘いに乗ったら初めはうまく行くかもしれませんが、最後に痛い目にあうことは必定です。悪魔は快いもの、きれいなもの、あらゆる楽しみ、さらには知的興味さえ用いて人々を自分のいるところに引きずりこもうとします。このような誘いにのってたとえ大事業をなし、歴史に名を残すほどのことが出来たとしても、それは結局、罪でしかありません。

悪魔は霊的な事柄については普通の人間よりもよく知っています。自分の縄張りだと思っていたこの世の中にイエス様が来られたという知らせは、悪魔の世界にパニックを引き起こしたはずです。悪魔は本物がわかりますから、知恵と力の一切を使ってイエス様を陥れようとしたのです。

ここで悪魔は「この国々の一切の権力と繁栄」が「わたしに任されている」と言っていますが、そのことは、この世界に悪魔以上の存在があることを、口がすべったのか悪魔自身が証言していることとなります。たとえこの世が悪魔の支配下にあるようにしか思えない時であったとしても、本当の支配者は神です。悪魔は神様のお許しのもと、

かりそめの支配を行っているにすぎません。

悪魔はイエス様に、一瞬のうちに世界の国々を見せて言いました、「もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる」。悪魔はささやいています。「この世界のすべてをあなたにあげましょう。いいえ、お礼はわずかでいいですよ。私を拝むだけです。妥協しなさい。世界をご自分のものにして人々を救う、こんな素晴らしいことってありますか」。

主イエスは答えられました。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。悪魔に対処する武器として、主は、神を信じる者なら誰でも用いることの出来るみことばによって勝利をおさめられました。

私たちの人生にもいつ悪魔の誘惑が待ち受けているかわかりません。それに乗っかってしまえばいったいどういうことになるのでしょうか。しかし、怖がることはありません。主イエスを誘惑した悪魔にしても、心の中には底知れぬ闇しかないので。悪魔の魂は絶望の淵にあります。このような者の喜びとすることは、一人でも多くの人を自分と同じ深い穴に落としこむことなのです。

こうなると、彼らの苦手とすることがわかってきます。それは無視することです。もともと人の注意を引きつけたくてたまらない連中なので、これにはこたえます。下手に相手の土俵に乗って、引きずりこまれるくらいなら、むしろ全く取り合わないことです。そうすれば彼らは引込みます。

私たちがなお積極的に出たいならば、彼らがふるえおののく方法があります。それが信仰です。神である主を拝み、ただ主に仕えること、他のどんな力にもより頼まないことです。こうなると悪魔はどうすることも出来ません。人間の力ではたいへん難しいことですが神なら出来ます。主イエスは今も、神を信じる私たちを悪魔から守っておられるのです。(2009年8月16日の礼拝説教)

牧師 井上 豊